



2020年1月期 決算説明会資料

第67期／2019年2月1日～2020年1月31日



クロスプラス株式会社 (証券コード 3320)



目次

1. 2020年1月期 決算概況	3
2. 中期経営計画進捗状況	12
3. 2021年1月期 計画	22
Appendix	28

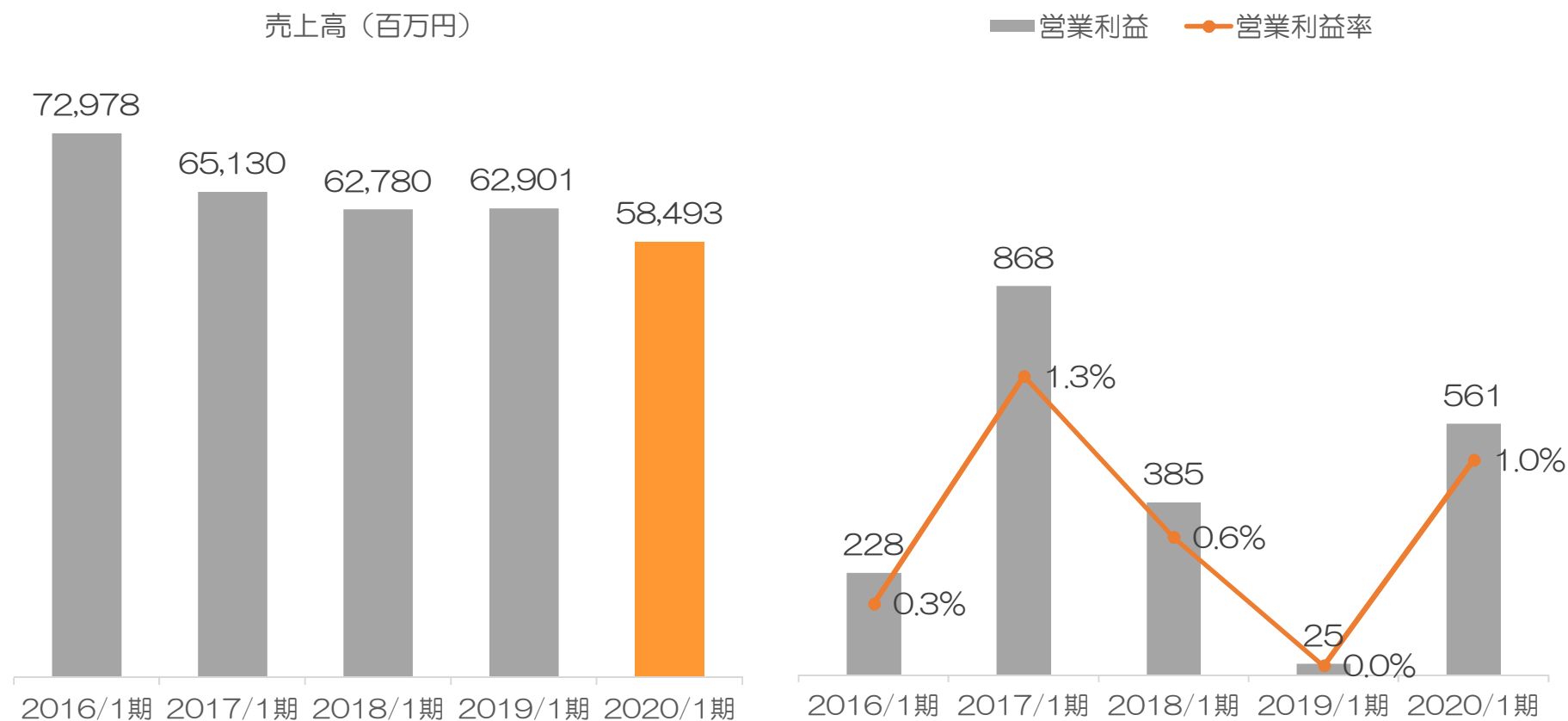


1. 2020年1月期 決算概況



決算総括

- 冷夏、暖冬により減収
- アパレル卸売の粗利益率が向上し増益
- 業態転換を積極的に進めECが伸長



【連結】 損益計算書

単位：百万円

	2019/1期			2020/1期							
	上期	下期	通期	上期	前年比	下期	前年比	通期	前年比	期初予想 2019年 3月15日発表	修正予想 2019年 12月11日発表
売上高	28,853	34,048	62,901	27,748	96.2%	30,745	90.3%	58,493	93.0%	64,000	59,000
売上総利益	5,550	6,626	12,176	5,986	107.9%	6,983	105.4%	12,969	106.5%	-	-
販管費	5,862	6,289	12,151	5,961	101.7%	6,446	102.5%	12,407	102.1%	-	-
営業利益	-312	337	25	24	-	537	159.3%	561	2244.0%	300	550
経常利益	-203	441	238	125	-	616	139.7%	741	311.3%	400	700
当期純利益	-226	549	323	121	-	541	98.5%	662	205.0%	350	750

【連結】ビジネス別売上高 実績

- アパレル卸売が減収
- アパレル小売のECが伸長

単位：百万円

	2019/1期		2020/1期			
		構成比		構成比	前年差額	前年比
アパレル卸売	54,143	86.1%	49,493	84.6%	△ 4,650	91.4%
アパレル小売	8,785	14.0%	8,929	15.3%	144	101.6%
内 EC	471	0.7%	1,003	1.7%	532	213.0%
その他・連結調整	△ 26	△0.0%	69	0.1%	95	-265.4%
合計	62,901	100.0%	58,493	100.0%	△ 4,408	93.0%

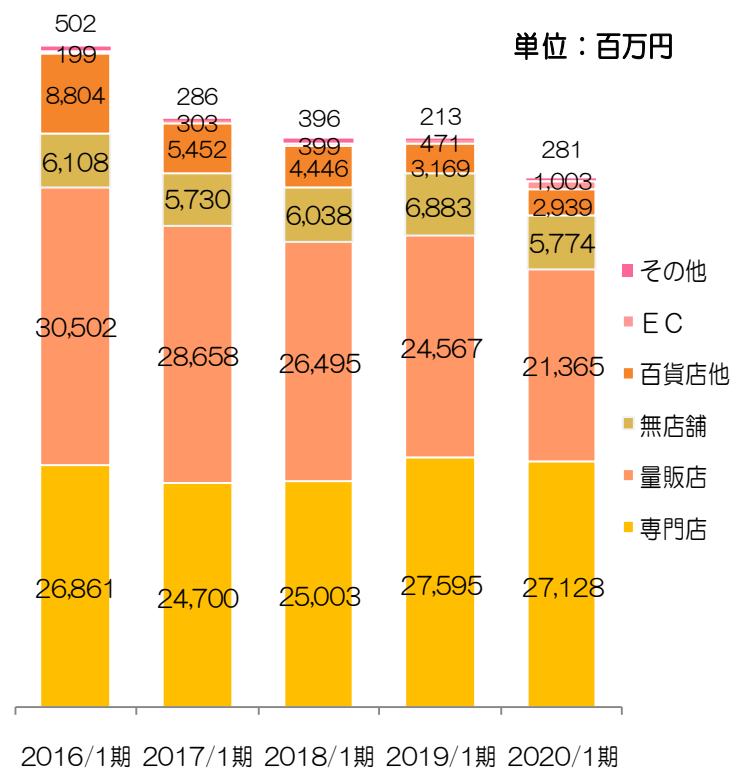
(注) 今期よりビジネス別売上を記載しています。(詳細はAppendixご参照)

【連結】販売チャネル別売上高実績

- 専門店向けは子会社解散による減少
- 量販店は平場向けの販売減少

単位：百万円

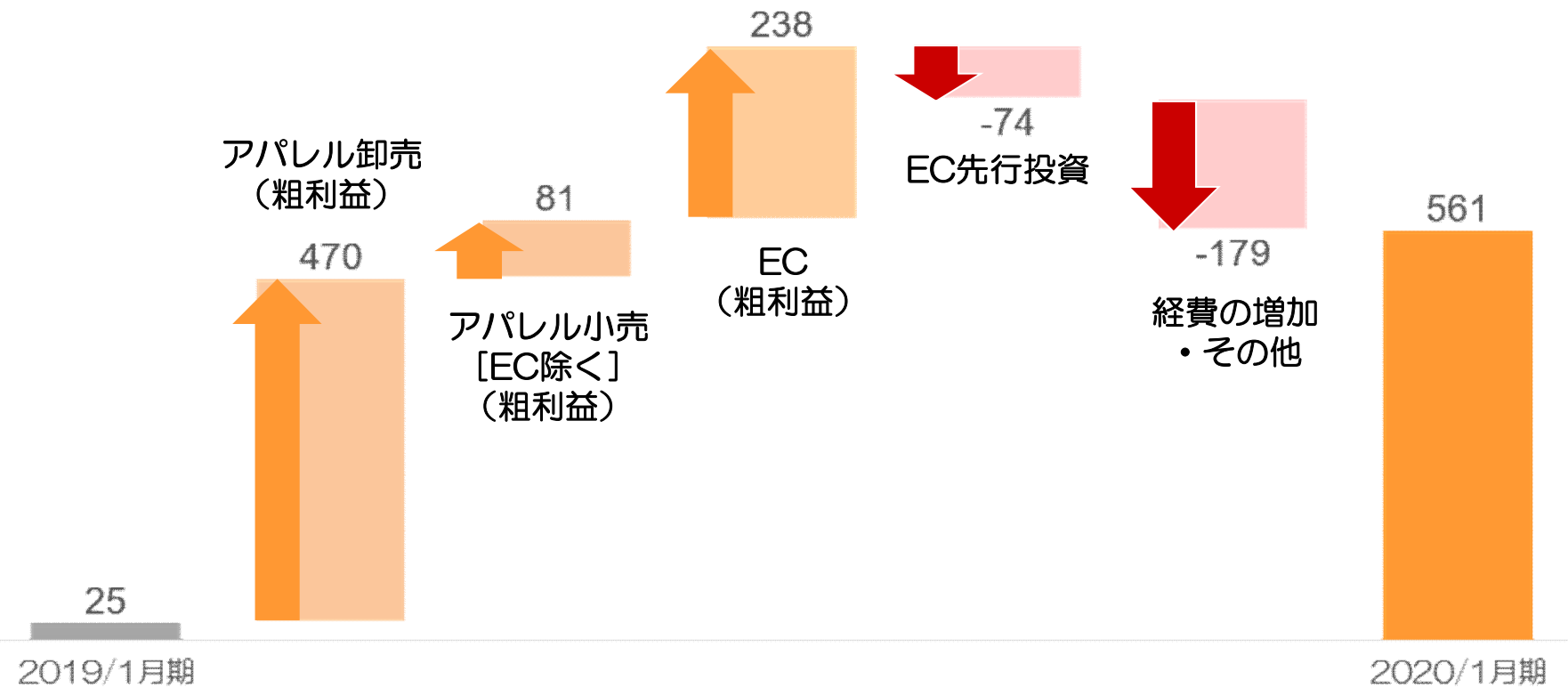
	2019/1期		2020/1期			
		構成比		構成比	前年差額	前年比
専門店	27,615	43.9%	27,128	46.4%	△ 487	98.2%
量販店	24,567	39.1%	21,365	36.5%	△ 3,202	87.0%
無店舗	6,883	10.9%	5,774	9.9%	△ 1,109	83.9%
百貨店他	3,149	5.0%	2,939	5.0%	△ 210	93.3%
EC	471	0.7%	1,003	1.7%	532	213.0%
その他	213	0.3%	281	0.5%	68	131.9%
合計	62,901	100.0%	58,493	100.0%	△ 4,408	93.0%



当期より販売チャネル区分の表記の見直しを行っています。

【連結】 営業利益の増減要因

- アパレル卸売の粗利益が増加
- EC等により経費増加



【アパレル卸売(国内)】業績指標

- 販売単価が上昇
- 販売枚数はロット数減により減少

単位：百万円

	2019/1期	2020/1期		
			前年差額	前年比
売上高	53,733	49,153	△ 4,580	91.5%
売上総利益率	16.7%	19.2%	2.5%	—
販売単価	1,066円	1,078円	12円	101.1%
仕入単価	861円	856円	△5円	99.4%
販売枚数	5,038万枚	4,557万枚	△481万枚	90.5%

【連結】キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	2019/1期	2020/1期	
			前年差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	743	753	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 157	134	291
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 637	△ 1,356	△ 719
現金及び現金同等物の増減	△ 45	△ 472	△ 427
現金及び現金同等物の期末残高	3,964	3,492	△ 472
減価償却費	247	276	29
設備投資	273	104	△ 169

【連結】貸借対照表・指標

	2019/1期		2020/1期 2Q		2020/1期		
		構成比		構成比		構成比	前年差額
流動資産	18,677	66.9%	14,787	63.0%	17,084	65.9%	△ 1,593
現預金	4,226	15.1%	3,366	14.3%	3,744	14.4%	△ 482
受取手形及び売掛金	11,822	42.3%	9,108	38.8%	10,586	40.8%	△ 1,236
商品	2,173	7.8%	1,906	8.1%	2,268	8.7%	95
固定資産	9,225	33.0%	8,675	37.0%	8,829	34.1%	△ 396
有形固定資産	4,171	14.9%	4,124	17.6%	4,056	15.6%	△ 115
投資有価証券	4,051	14.5%	3,521	15.0%	3,832	14.8%	△ 219
資産合計	27,920	100.0%	23,477	100.0%	25,926	100.0%	△ 1,994
負債合計	16,138	57.8%	11,860	50.5%	13,480	52.0%	△ 2,658
支払手形及び買掛金	8,782	31.5%	6,740	28.7%	7,589	29.3%	△ 1,193
有利子負債	3,906	14.0%	2,399	10.2%	2,618	10.1%	△ 1,288
純資産合計	11,781	42.2%	11,617	49.5%	12,445	48.0%	663
株主資本	10,626	38.1%	10,736	45.7%	11,240	43.4%	614
1株当たり純資産 (BPS)		1606.81円		1582.7円		1695.2円	88.39円
1株当たり純利益 (EPS)		44.22円		16.63円		90.43円	46.21円
自己資本比率		42.1%		49.4%		47.9%	5.8%
株主資本利益率 (ROE)		2.8%		1.0%		5.5%	2.7%
総資産利益率 (ROA)		0.8%		0.5%		2.8%	2.0%



2. 中期経営計画進捗状況



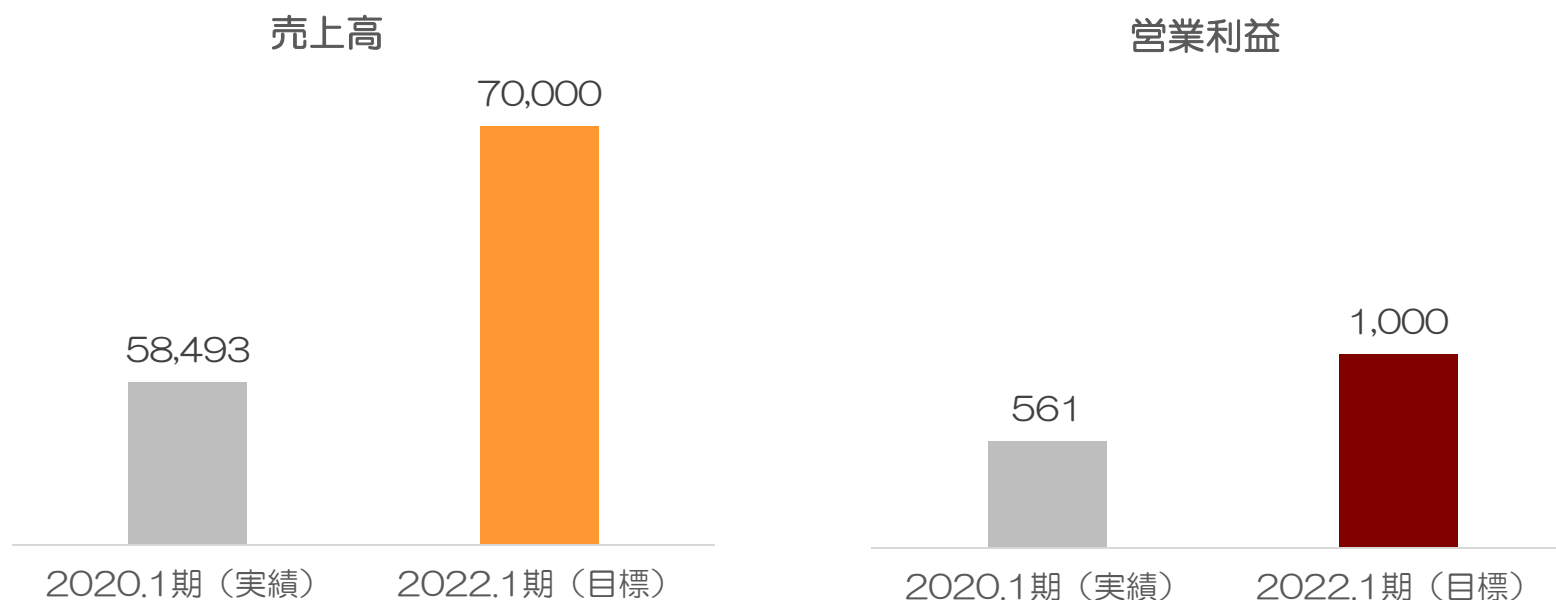
中期経営計画（2020年1月期～2022年1月期）

■ 中期経営計画

1. 戦略 創る力 × α

（創る力をベースに業態・機能を掛け合わせる）

2. 数値目標 売上高700億円 営業利益10億円



戦略 創る力 × α

施策

〈新業態の確立〉

- ECの強化
- ブランドビジネスの拡大

〈アパレルの機能強化〉

- 専門店販路の拡大
- 商品企画機能の強化
- 生産管理の強化

ECの強化（D2Cブランド販売）

- D2C（EC専用）ブランドの立ち上げ
- レディース衣料「N.O.R.C」、アクセサリー「ROOM」の会員増加

N.O.R.C



ROOM



ECの強化（既存ブランド販売）

- ブランド展開の拡大
- 販売システム、物流の基盤づくり

KANGOL



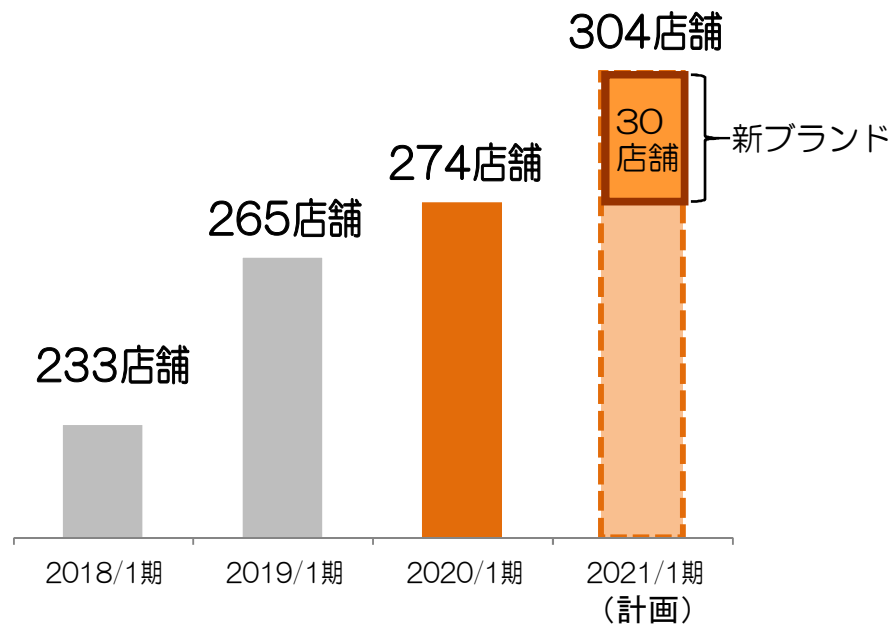
HEAD



ブランドビジネスの拡大

- ・ 関東・東北エリアを中心に新店
- ・ 新ブランドを今秋にスタート

ブランドコーナーの店舗数



ALPHA CUBIC



専門店販路の拡大

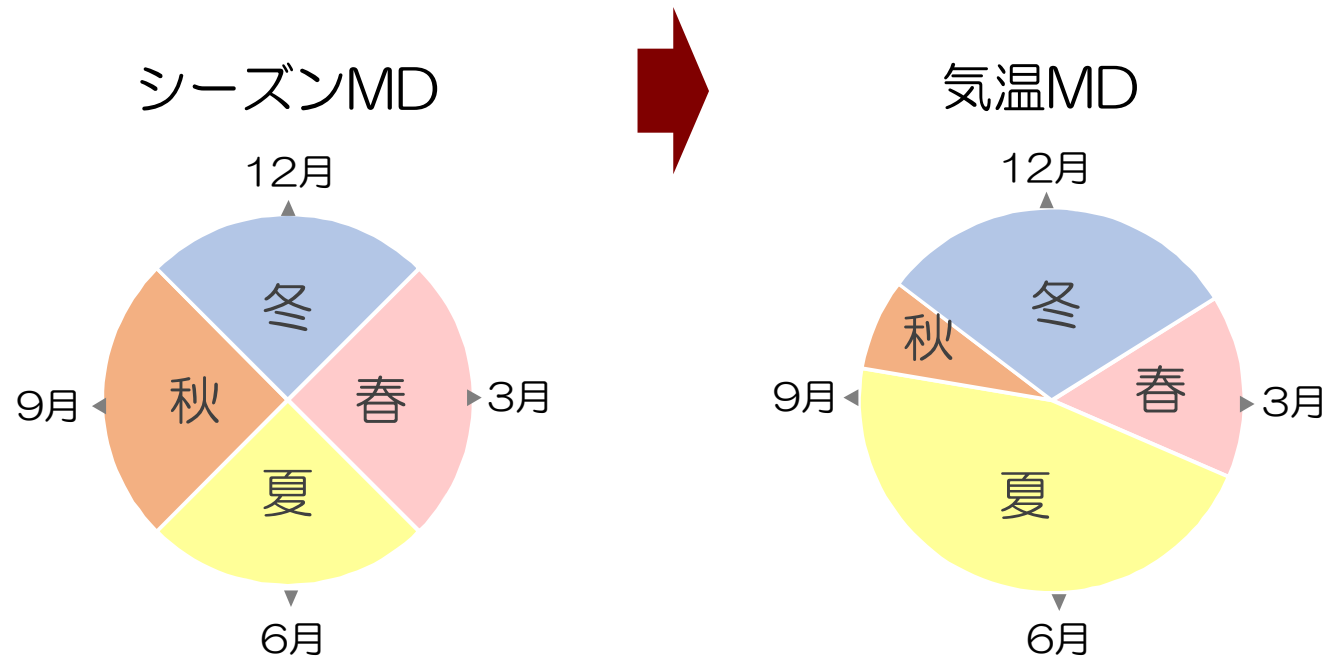
- 主力得意先の取引ブランド数増加
- 主力素材の開発による長期生産の取組み

専門店向け総合展示会



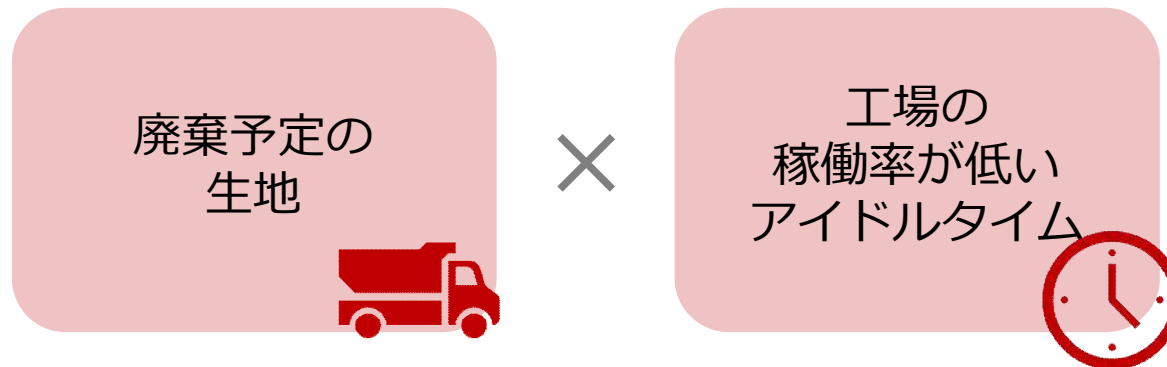
商品企画機能の強化

- AIを導入し店頭販売効率向上
- シーズンMDから気温MDへ企画の見直し



商品企画機能（サステナブル）

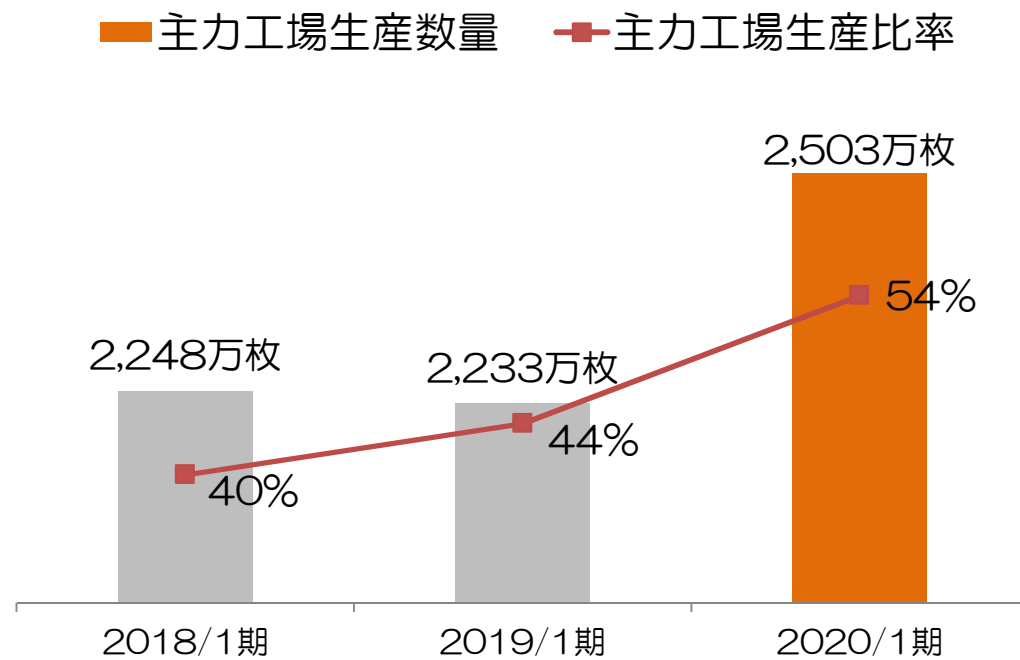
- (株)FINEとの共同プロジェクト「RenameX」をスタート
- 余剰生地と閑散期工場を活用したサステナブルな服作り



= Rename X

生産管理の強化

- 主力工場の生産集約を継続
- ITを活用した工場管理強化





3. 2021年1月期計画



新型コロナウイルスの影響

《中国生産》

- 工場は稼働率8割
- 人や物の移動に制限があり、工員の戻りや製品輸送に支障あり
- アセアンの生産は中国での生地や副資材等の遅れが一部影響あり
- 約1ヶ月程度の生産の遅延を見込む

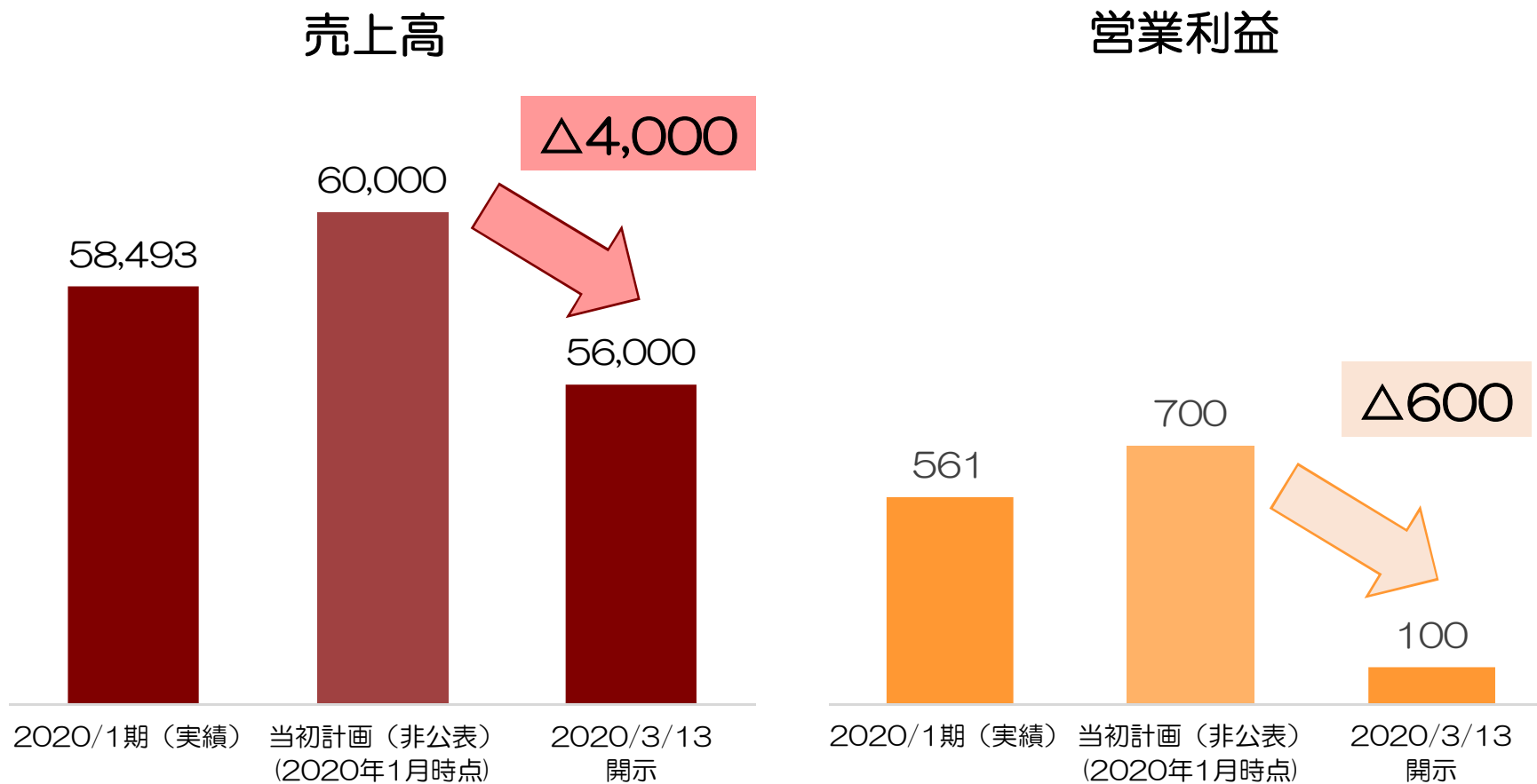
《国内営業》

- 出張の自粛等で販売活動に影響あり
- 2月下旬以降、店頭に来客数減少による消費低迷

新型コロナウイルスによる業績への影響

- 中国での生産遅延や日本の販売減少を織り込み、当初計画の見直し

(単位:百万円)



【連結】2021年1月期 業績予想

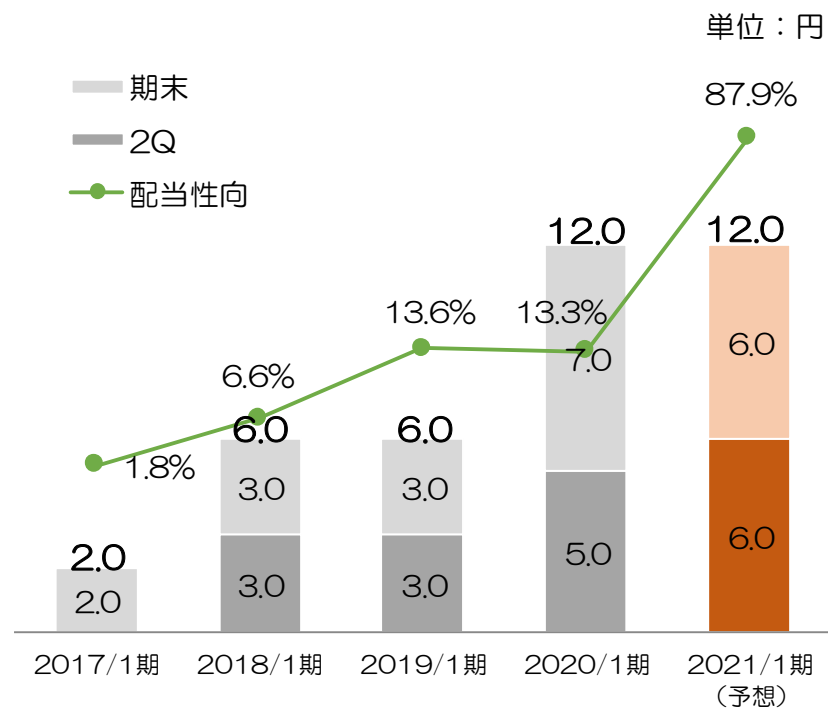
単位：百万円

	2020/1期			2021/1期（予想）					
	上期	下期	通期	上期	下期		通期		
				前年比	前年比	前年比	前年比		
売上高	27,748	30,745	58,493	23,500	84.7%	32,500	105.7%	56,000	95.7%
売上総利益	5,986	6,983	12,969	5,300	88.5%	7,700	110.3%	13,000	100.2%
販管費	5,961	6,446	12,407	5,900	99.0%	7,000	108.6%	12,900	104.0%
営業利益	24	537	561	△ 600	—	700	130.4%	100	17.8%
経常利益	125	616	741	△ 550	—	750	121.8%	200	27.0%
当期純利益	121	541	662	△ 550	—	650	120.1%	100	15.1%

株主還元

- 安定配当を方針として、配当金は12円を予想。

		2020/1期	2021/1期 (予想)
1株当たり 配当金	2Q	5.0円	6.0円
	期末	7.0円	6.0円
	年間	12.0円	12.0円
配当性向		13.3%	87.9%





CROSS PLUS



CROSS PLUS



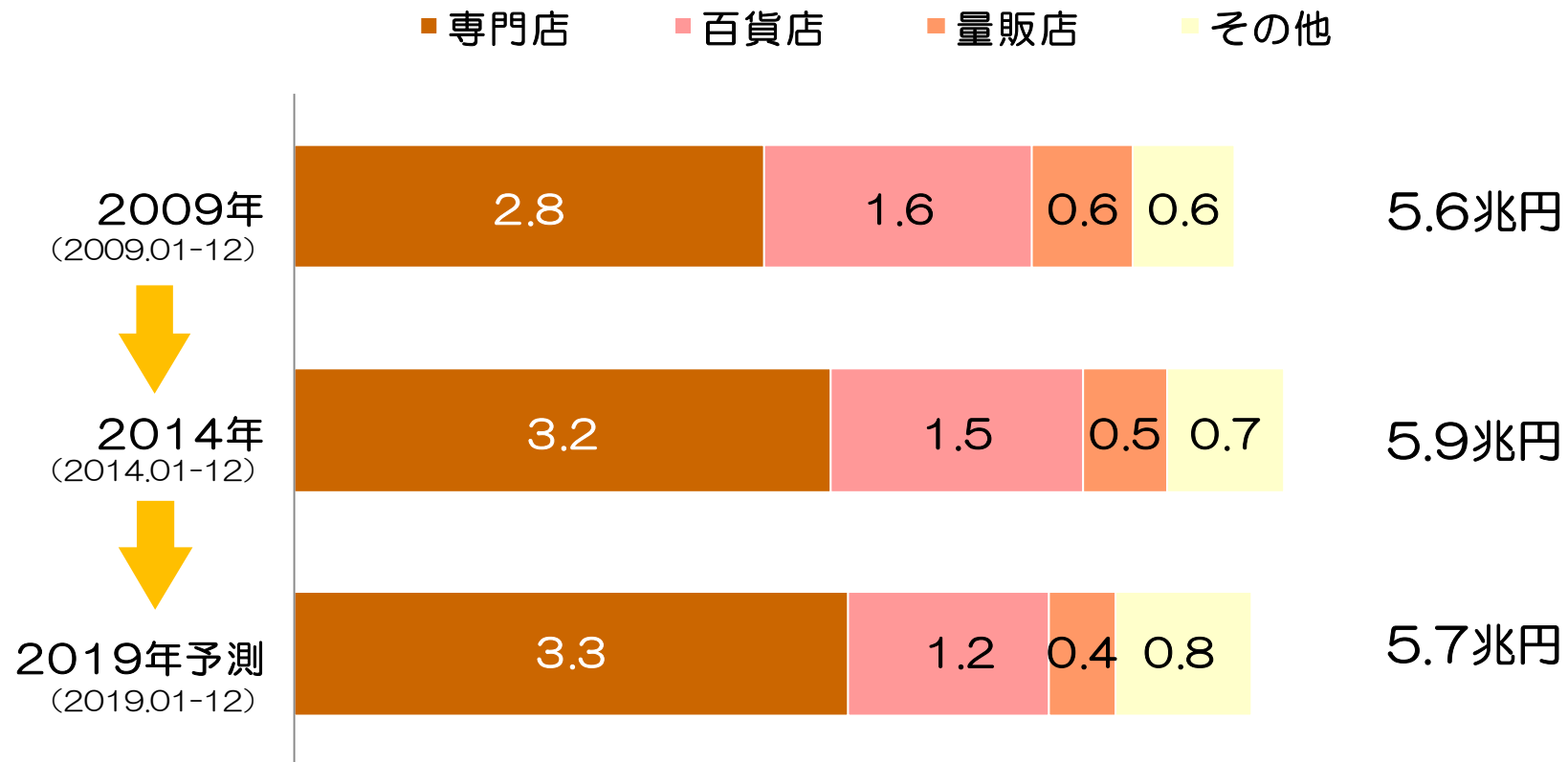
Appendix



商号	クロスプラス株式会社
設立	1953年4月
本社	名古屋市西区花の木三丁目9番13号
代表者	山本 大寛
従業員数	<連結>732名 <単体>609名 (2020年1月31日現在)
資本金	1,944百万円 (2020年1月31日現在)
発行株式数	7,718,800株 (2020年1月31日現在)
事業内容	婦人服、子供服の企画、製造、及び全国の量販店、専門店等への販売
連結子会社	(株)サードオフィス、(株)中初 客楽思普勒斯(上海)服飾整理有限公司、(株)ディスカバリープラス

- 1951年 婦人ブラウスの製造卸売を目的として櫻屋商店を創業
- 1953年 櫻屋商店を改組し櫻屋商事（株）を設立
- 2001年 「クロスプラス」へ社名変更
- 2002年 スタイリンク（株）を設立
- 2004年 東証二部・名証二部に株式上場
- 2005年 客楽思普勒斯(上海)服飾整理有限公司を設立
- 2006年 （株）ヴェントインターナショナルを子会社化
- 2015年 （株）ヴェントインターナショナルの事業譲渡
- 2017年 （株）ディスカバリープラスを設立
- 2018年 （株）サードオフィスを子会社化
（株）中初を子会社化
- 2019年 スタイリンク（株）を解散

婦人服市場規模



(注) 国内婦人服・洋品の小売金額ベース、2019年は予測値（2019年9月現在）、百貨店および量販店チャンネルは経済産業省「商業販売統計」をもとに推計表示桁未満四捨五入

出所：矢野経済研究所「アパレル産業白書2015、2019」

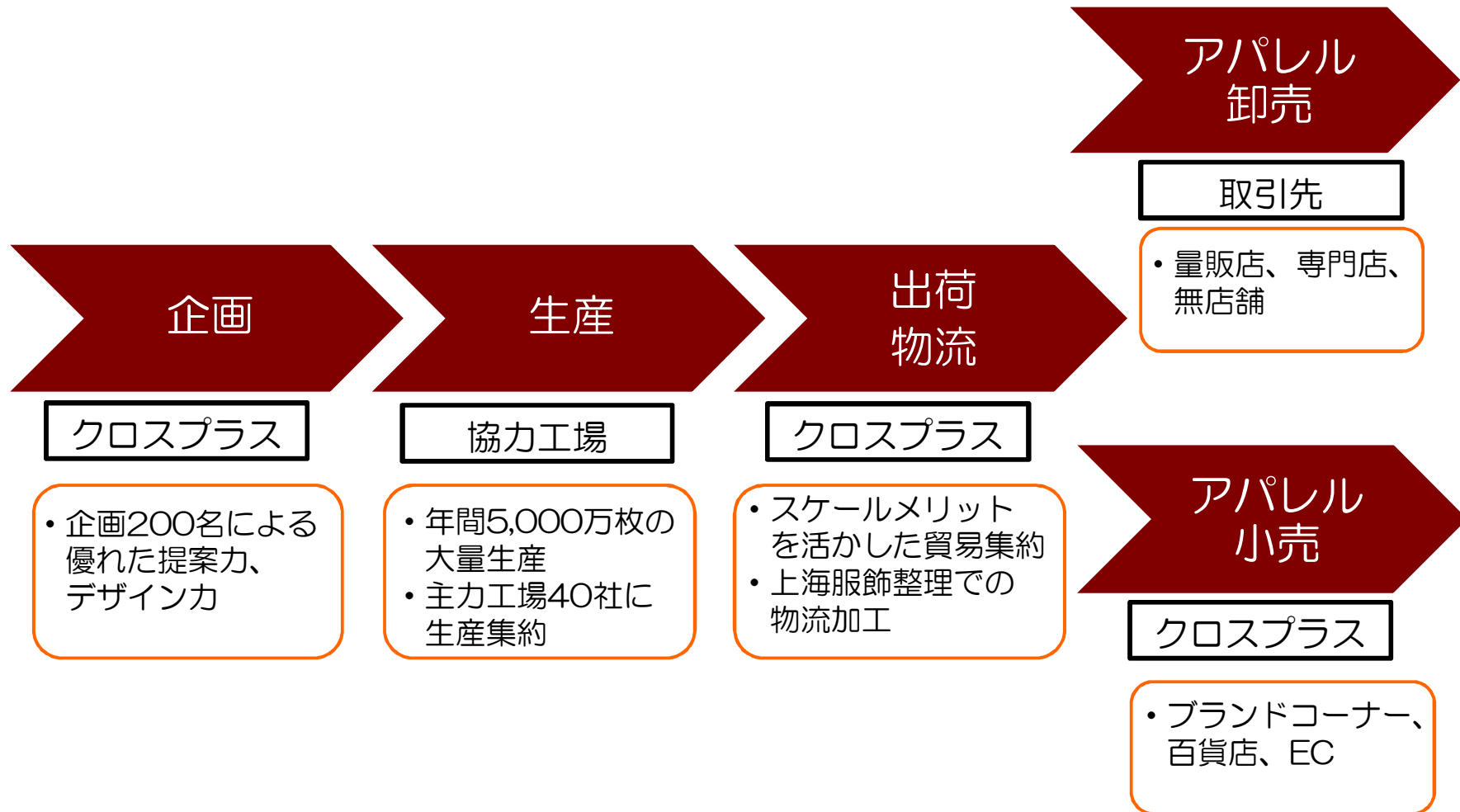
婦人アパレル売上高（2018年度）

単位：百万円

順位	社名	売上高
1	ワールド（※）	164,933
2	オンワードホールディングス（※）	141,640
3	T S Iホールディングス（※）	108,793
4	クロスプラス（※）	56,155
5	ジュン（※）	50,800
6	ルックホールディングス（※）	43,401
7	イトキン（※）	42,556
8	ファイブフォックス（※）	35,916
9	三陽商会	34,600
10	4℃ホールディングス（※）	34,266

（※）連結またはグループ合算

出所：織研新聞 2019年8月1日



アパレル事業の内容と特徴



会社	ビジネス区分	事業内容
クロスプラス（株）	アパレル卸売	レディース、キッズ、雑貨を専門店をはじめ全てのチャンネルへ製造卸売
	アパレル小売	百貨店、量販店、ECサイトでの直販
（株）サードオフィス	アパレル卸売	メンズを主力に専門店のOEM・ODM
	アパレル小売	服飾雑貨のECサイトでの直販
（株）中初	アパレル卸売	レディースの帽子を中心とした製造卸売
上海服飾整理有限公司	アパレル卸売	中国での自社商品の検品・検針・物流加工

ビジネス区分の特徴

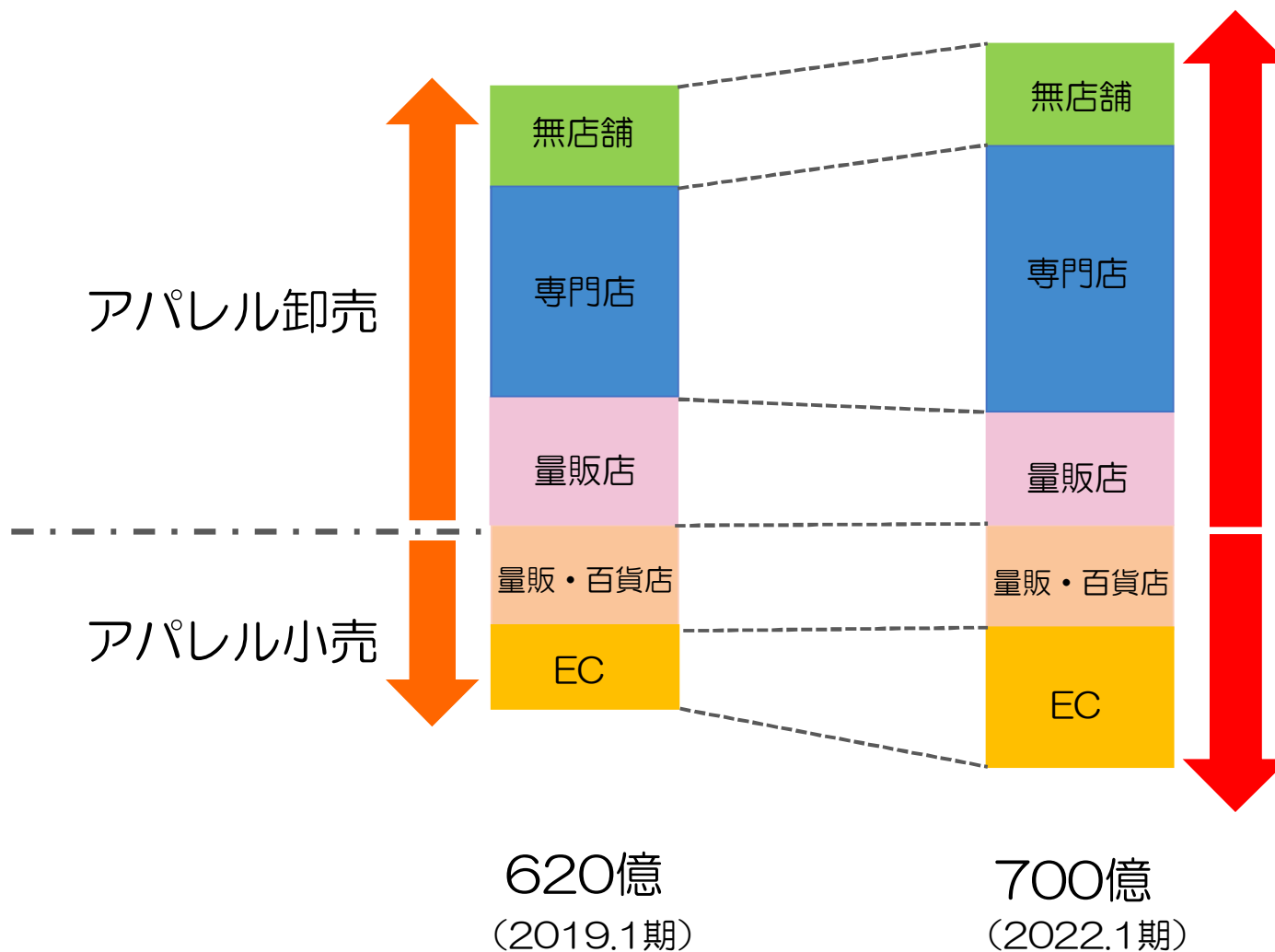
ビジネス区分	販売先	決定権	粗利益率	在庫負担
アパレル卸売	小売	小	低	なし
アパレル小売 (EC)	消費者	大	高	あり

ビジネス区分

販売 チャンネル	売場	ビジネス区分
量販店	ブランドコーナー	アパレル小売
	PB	アパレル卸売
	平場	アパレル卸売
専門店	ファッションビル	アパレル卸売
	ショッピングセンター	
	ロードサイド	
無店舗	カタログ通販	アパレル卸売
	TVショッピング	
	インターネット通販	
百貨店	百貨店	アパレル小売
EC	自社サイト/ECモール	アパレル小売

今後の販売チャネル

現在の姿 → 将来の姿



- 本資料は、当社が入手している情報に基づいて、当社が本資料の作成時点において行った予測等を基に記載されています。これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、一定のリスクや不確実性を内包しております。従いまして、将来の実績が本資料に記載された見通しや予測と大きく異なる可能性があります。
- また、本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

お問い合わせ先

クロスプラス株式会社 経営企画室

TEL : 052-532-2211 (代表)

e-mail : ir-info@crossplus.co.jp